

レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール：FC+Pembro療法

下記の治療を3週間毎に繰り返します。



ルート①

投与時間	お薬の名前	用法用量	お薬の効果	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
				/	/	/	/	/
15分	アロキシ デキサメタゾン	0.75mg/袋 13.2ng	吐き気止め	○				
30分	プロイメンド 生理食塩水	150mg 50mL	吐き気止め	○				
30分	キイトルーダ 生理食塩水	[200] mg 50mL	抗腫瘍剤	○				
15分	生理食塩水	50mL	水分補給	○				
1時間	カルボプラチン 5%ブドウ糖	[AUC=5] mg 250mL	抗腫瘍剤	○				
24時間	フルオロウラシル 生理食塩水	[1000mg/m ²] mg 1000mL	抗腫瘍剤	○	○	○	○	~12:30

ルート②

2時間	生理食塩水	500mL	水分補給	○				
-----	-------	-------	------	---	--	--	--	--

☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。

※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。

※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

☆FCの副作用について

・アレルギー反応（カルボプラチン点滴中～）

さむけ、頭痛、かゆみ、咳、息苦しさ、喉のイガイガなどの症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

- ・吐き気（当日～）
- ・味覚異常、臭覚過敏（当日～）

- ・便秘（当日～）

- ・口内炎（1～2週間ごろ）

普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。

- ・下痢

腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。

- ・骨髄抑制（1～2週間）

白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。

→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けて下さい。値によっては増やす薬を使うことがあります。

→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。

☆キイトルーダの副作用について

- ・注射時反応（テセントリク点滴中～）

点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。

また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。

特に初回に多いと言われていています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

- ・間質性肺炎

乾いた咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状がある場合は受診してください。

- ・糖尿病

口や喉の渇き、多飲、多尿、倦怠感などの症状がある場合は受診してください。

- ・皮膚症状

発疹、皮膚の乾燥、ひび割れが起こることがあります。

皮膚を清潔に保ち、保湿を心がけ、刺激を与えないようにしてください。

しびれやまひなどの症状がある場合は受診してください。

- ・重症筋無力症、筋炎

手足に力が入らない、ものが二重に見える、筋肉痛などの症状がある場合は受診してください。

- ・胃腸障害

下痢、悪心などの症状が現れた場合はお知らせください。

- ・甲状腺機能障害（定期的に検査します）

疲労、脱力感、食欲不振などの症状が現れた場合はお知らせください。

- ・血球減少

白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。

→白血球減少時は感染症にかかりやすくなります。発熱時は受診してください。

→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。

- ・肝機能障害

GOT値、GPT値、ALP値の上昇が現れることがあります。